



# 輝き人生ライフ

このコーナーではきりと輝きながら活躍する市民を紹介します。

## 大好きなボクシング もっと練習して強くなりたい

たてかわ 立川 久遠さん (みずきが丘)



重要な練習の1つのサンドバック打ち、地道な練習がいずれ実を結びます。

真剣な表情で、ただひた向きミット打ちやサンドバック打ちなどのボクシングの練習に取り組むのは、市野ボクシングジム(鈴鹿市)所属の立川久遠さん(井田川小学校6年生)。

今年3月には、地区ブロック大会を勝ち上がった小・中学生が競う「全国アンダージュニアボクシング大会」に出場し、小学生男子32キロ級で見事優勝しました。

週4日～5日はボクシングジムに通う立川さん。ボクシングの技術・テクニクの向上を目指して、日々練習に励んでいます。

### 一始めたきっかけは？

「小学2年生のとき、井岡一翔選手(プロボクサー)の試合をテレビで観戦し、正確なパンチで相手に

勝つ井岡選手のボクシングに憧れ、すぐに始めました。」

### 一ボクシングの魅力は？

「試合に勝ったときは、やはり最高の気分です。また、『強くなりたい』という同じ目標に向かって、励まし合えるボクシング仲間に出会えたことも嬉しいです。ボクシングジムに行けば、頼れて親しみの持てる先輩や気の合う後輩がいるので、練習が大変であっても、あまり苦に感じることはありません。」

### 一大きな大会で戦ってみて

「リングに上がる前はとても緊張しました。なんとか勝って嬉しかったけど、日本各地には強い選手がいることを実感できました。今後の練習の励みになる、良い刺激を受けました。」

### 一強みとするところと今後の課題

「得意とするパンチは腹部を狙うボディブローなので、その技術をもっと磨きたいと思います。一方で課題は、試合中で相手に押される状況になると、焦ったり、少し不安な気持ちになったりするので、精神的にも強くなりたいです。」

### 一これからは？

「出場する大会は、すべて勝つつもりで試合に臨みたいと思います。また、高校3年生になった時(平成33年)に、三重県で国民体育大会が開催されるので、地元主催の大きな大会に出場して優勝したいです。そのためにも、日頃からもっと練習に取り組んで、強くなりたいです。」

## 図書館の本棚から 市立図書館 (☎82-0542)



『**鳶屋**』  
谷津矢車／著  
学研パブリッシング(2014年3月刊)  
江戸時代、版元(出版人)として次々とヒットを飛ばした鳶屋重三郎。喜多川歌麿、東洲斎写楽、十返舎一九らを売り出し、アイデアと人脈で江戸の出版界に旋風を巻き起こした、異色のプロデューサーの生きざまを描く。



『**はじめての療育**』  
藤原里美／著  
学研教育出版(2015年5月刊)  
マンガでわかる子どもの発達特性。自閉症スペクトラム、ADHD(注意欠陥・多動性障害)などの理解と対応の入門書。療育に携わってきた著者と母親である漫画家と一緒に「なぜそうなのか」、「どうすればいいのか」を考える。

### ～新着だより～

#### 小説

- 空棺の鳥／阿部智里
- 砂の街路図／佐々木譲
- オルフェオ／リチャード・パワーズ
- 名古屋16話／吉川トリコ
- 横濱王／永井紗耶子

#### 児童

- シルヴィーどうぶつえんへいく／ジョン・バーニングム
- ギョギョギョ！おしえて！さかなクン／さかなクン
- いちばにいくファルガさん／チトラ・サウンダー
- 秘密／小林深雪
- 天と地の方程式／富安陽子

#### その他

- 社内プレゼンの資料作成術／前田謙利
- 新幹線をデザインする仕事／福田哲夫
- 好印象を与えるママ&パパの子連れマナー／岩下宣子
- 皇室とっておき／朝日新聞社
- 日本100岩場／北山真 (ほか309冊)